



移転新築した「活動支援施設あけぼの」で、利用者らに見守られながら行われた記念植樹

「あけぼの」新築祝う

障害者就労支援施設 新たにパン店 室蘭

室蘭市白鳥台で障害者の就労支援などを行う「活動支援施設あけぼの」は16日、移転新築した同施設の落成記念式典を敷地内で行った。施設内には利用者が製造するパンの販売所も新設され、同日披露された。

この日は利用者や職員、来賓ら約100人が参列。記念植樹では敷地内にオシロイの木を植え、式典では施設を運営する社会福祉法人室蘭言泉学園の菅野登一郎理事長が「利用する一人一人の自己実現と地域福祉の向上に貢献したい」とあいさつ。利用者代表の藤田凌平さんも「廊下、作業室が広々として便利。一生懸命に建ててくださった『あけぼの』をこれから大切に使用していきます」と述べた。

移転新築工事は施設老朽化のため昨年9月から今年3月まで実施。施設面積は約8339平方メートル従来の1・8倍に。重度の障害があ

る人が入浴できる特殊浴槽室、地域住民の利用を見込んだパンの販売店舗などを新設した。店舗は6月中旬にオープンする予定という。

同施設は市の指定管理事業だったが、移転を機に4月から民営化。指定管理者だった同法人が引き続き運営している。

(水野可菜)